(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号

特許第5255916号
(P5255916)

(45)発行日　平成25年8月7日(2013.8.7)　(24)登録日　平成25年4月26日(2013.4.26)

(51)Int.Cl.		F I		
G09F 1/10	(2006.01)	G09F	1/10	H
G09F 7/02	(2006.01)	G09F	7/02	D
G09F 15/00	(2006.01)	G09F	15/00	Z

請求項の数 8　(全 19 頁)

(21)出願番号　特願2008-147564 (P2008-147564)
(22)出願日　平成20年6月5日 (2008.6.5)
(65)公開番号　特開2009-145860 (P2009-145860A)
(43)公開日　平成21年7月2日 (2009.7.2)
審査請求日　平成23年6月3日 (2011.6.3)
(31)優先権主張番号　202007017252.4
(32)優先日　平成19年12月11日 (2007.12.11)
(33)優先権主張国　ドイツ(DE)

(73)特許権者　504187537
ビスプレイ・インターナショナル・アクチェンゲゼルシャフト
スイス国、４１３２　ムッテンツ、クリューネンフェルトストラーセ、２２
(74)代理人　100069556
弁理士　江崎　光史
(74)代理人　100111486
弁理士　鍛冶澤　實
(72)発明者　ヘルベルト・ヴァルター
ドイツ連邦共和国、７９３７９　ミュールハイム、イム・ツェーントガルテン、１３

審査官　青山　玲理

最終頁に続く

(54)【発明の名称】ポスター状情報支持体用の保持装置

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
ａ）情報支持体（７）を間に配置収容する、同じ長方形の板として形成された二つのテーブル部材（２）であって、情報支持体を見せるためにテーブル部材（２）の少なくとも一方が透明であるものと、
ｂ）両テーブル部材（２）を挿入する台座（３）と、
ｃ）情報支持体（７）を収容するために両テーブル部材（２）の間の隙間（２０）を形成する手段（４、３７）であって、この手段（４、３７）が、テーブル部材（２）の間に突き出す、台座（３）に配置された垂直片（３７）及びテーブル部材（２）の間に位置するスペーサ部材（４）又はそのいずれか一方であるものと、
を備えるポスター状情報支持体（７）用の保持装置（１）において、
ｄ）両テーブル部材（２）が、その下辺（２４）により台座（３）に挿入され、台座（３）に挿入される領域で下辺（２４）に対して垂直な両外辺に、両テーブル部材（２）を台座（３）に固定するために使用されるそれぞれ一つの第一空所（２２）を有し；
ｅ）台座（３）に挿入される領域で両テーブル部材（２）の両外辺に、それぞれ一つの段差部（２３）が設けられており、この段差部（２３）は、第一空所（２２）を越えて外辺に沿って、一方では連続的に下辺（２４）まで延びて、他方では短い間隔にわたり第二空所（２１）の方向に延びていて；そして、
ｆ）台座（３）に挿入される領域外で両テーブル部材（２）の両外辺に、それぞれ第二空所（２１）が存在し、この第二空所が、保持装置（１）に差し込む情報支持体（７）を

つかむ及び情報支持体（７）にクリップ部材（５）を取り付ける又はそのいずれか一方を行うグリップ凹みとして用いられること、

台座（３）が、長手方向で両端に、それぞれ一個の隅部材（６）を備えていて、両隅部材（６）が、一方で台座に固定され、他方で両テーブル部材（２）のそれぞれの第一空所（２２）に係合することによって、両テーブル部材（２）が、台座（３）に固定されており、第二空所（２１）に挿入されるクリップ部材（５）を情報支持体（７）に相応に取り付けることによって、テーブル部材（２）を挿入した台座（３）が上又は横を向くように、保持装置（１）が、位置され得ること、

を特徴とする保持装置（１）。

【請求項２】

ａ）台座（３）が、その両端が長手方向に開放した、二つの横脚（３１）を備えるＵ字成型材として形成されていて、これら横脚が板ばねとして作用し、その間に片側に開放する自由空間（３０）を包囲し；

ｂ）両横脚（３１）からそれぞれ一個の分岐部（３４）が、横脚（３１）に対して垂直に延びていて、この分岐部（３４）が、互いに向き合っていて、それぞれ、分岐部（３４）に対して垂直に自由空間（３０）に向かって延びるフランク（３３）に移行し、両フランク（３３）が、横ウエブ（３８）により架橋されていて、フランク間に、自由空間（３０）と反対を向いて開放するねじ通路（３９）を有し；

ｃ）両分岐部（３４）と両フランク（３３）と横ウエブ（３８）が、両横脚（３１）を結合するＵ字の部分を構成し、自由空間（３０）を画成し；

ｄ）各横脚（３１）が、開放した終端領域に、互いに向き合う係止突起（３２）を有し；

ｅ）垂直片（３７）が、横ウエブ（３８）の中心から自由空間（３０）内へ立ち上がることを特徴とする請求項１に記載の保持装置（１）。

【請求項３】

ａ）両横脚（３１）が、自由空間（３０）とは反対側に、分岐部（３４）を超えて突き出るそれぞれ一個の延長部（３５）を備え、これにより、各分岐部（３４）が、肩部（３６）を形成し；

ｂ）両肩部（３６）が、同一平面上に位置し、ねじ通路（３９）まで延びていて；

ｃ）肩部（３６）が、ねじ通路（３９）によりアダプター（８）の接続部材（８１）を固定するために利用でき；そして

ｄ）台座（３）が、アルミニウム成型材から成ることを特徴とする請求項２に記載の保持装置（１）。

【請求項４】

ａ）両テーブル部材（２）が、同じ透明材料から成り；そして

ｂ）テーブル部材（２）の厚さが、横脚（３１）と垂直片（３７）の間の内径に一致することを特徴とする請求項１乃至３のいずれかの一項に記載の保持装置（１）。

【請求項５】

ａ）保持装置（１）の両テーブル部材（２）が、台座（３）に挿入される領域外で両外辺に、台座（３）に対して同じ間隔でそれぞれ一つの第二空所（２１）を有し、この第二空所が、互いに完全に一致して配置され、半円形であり；そして

ｂ）クリップ部材（５）が、第二空所（２１）の輪郭に相互補完的に架橋部（５０）によって互いに連結された二つの半円形の側面部（５１）を有し、これら側面部が、情報支持体（７）を第二空所（２１）の領域で両側から包囲してそれで固定するために、クリップ状に閉められることを特徴とする請求項１乃至４のいずれかの一項に記載の保持装置（１）。

【請求項６】

ａ）台座（３）が、長手方向で両端に、それぞれ一個の隅部材（６）を備えていて、隅部材が、台座（３）の端の切断面を覆うように且つ台座（３）に差し込む両テーブル部材（２）を固定するように用いられ；

ｂ）一部材の隅部材（６）が、プレート状の第一アングル部片（６０）とこれに対して直角なプレート状の第二アングル部片（６６）を有し、それらの間で直角の内側にリブ（６２）が延びていて、このリブが、横からねじ通路（３９）に挿入可能であり；

ｃ）第一アングル部片（６０）が、台座（３）の肩部（３６）に当接するように設定されて、さらに、ねじ通路（３９）に係合するねじ（６９）を取り付ける孔（６１）を有し；

ｄ）第二アングル部片（６６）が、直角の内側に突出部（６８）を有し、この突出部から刃状のほぞ（６７）が立ち上がり；そして

ｅ）突出部（６８）が、二つの並んで位置されたテーブル部材（２）の両第一空所（２２）に係合し、ほぞ（６７）の下面の高さと台座（３）の垂直片（３７）の上面の高さが一致するように、ほぞ（６７）が、テーブル部材（２）間に突き出し、第二アングル部片（６６）の厚さが両テーブル部材（２）の段差部（２３）に挿入され、それにより第二アングル部片（６６）の外面が、テーブル部材（２）の外辺と同一平面上に終了することを特徴とする請求項１乃至５のいずれかの一項に記載の保持装置（１）。

【請求項７】

ａ）板状のスペーサ部材（４）が設けられ、組立て状態で、両テーブル部材（２）間と、組み立てた隅部材（６）の両側から中へ突き出たほぞ（６７）間で、台座（３）の垂直片（３７）に載置され、無色透明合成樹脂から成り；

ｂ）台座（３）に差し込んだ両テーブル部材（２）が台座（３）の横ウエブ（３８）に着座し；そして、

ｃ）スペーサ部材（４）の、台座（３）と反対を向いた辺が、挿入された情報支持体（７）用のストッパを形成することを特徴とする請求項１乃至６のいずれかの一項に記載の保持装置（１）。

【請求項８】

ａ）テーブル部材（２）を挿入した台座（３）が下又は上又は横を向くように、保持装置（１）が、位置され得て；

ｂ）支持構造体（９）が、板状或いは管状スタンド、鏡板、架台、後壁或いはカバーであり、支持構造体（９）と結合する台座（３）の間にアダプター（８）が挿入され得て；

ｃ）アダプター（８）が接続部材（８１）を有し、その接続部材が、台座（３）の両肩部（３６）に取り付けて且つ台座（３）のねじ通路（３９）に固定するように形成され；そして、

ｄ）アダプター（８）が、支持構造体（９）と分解可能に結合する結合形状部（８６）を有することを特徴とする請求項１乃至７のいずれかの一項に記載の保持装置（１）。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

この発明は、観察者に通知するポスター状情報支持体用の保持装置に関する。情報支持体には、すべての種類の物情報、供給品情報や広告情報が与えられ得て、例えば提案された製品に対する物品、製造者、大きさ、量と価格の表示或いは公開されたサービスに対する出力範囲と出力条件が与えられ得る。情報支持体は、文字及び図形記号又はそのいずれか一方で印刷され、手で記載され得る。保持装置の典型的使用が、例えばデパートの商品スタンドである。

【背景技術】

【０００２】

スイスのビルスフェルデン（Ｂｉｒｓｆｅｌｄｅｎ）のビトラショプ株式会社（Ｖｉｔｒａｓｈｏｐ　ＡＧ）　の社報「ビトラショプ・ジャーナル」（発行年１９９３年）第６５頁（非特許文献１）から、ポスター状情報支持体用の保持装置が知られている。この保持装置は、Ｕ字状に上方に開放するフレームを構成するようにＵ字成型材から形成されている。このフレームの水平台座脚と上方に延びる両横脚は、Ｕ字成型材の、フレームの内部に向いた溝と一緒にソケットを形成し、そのソケットには、ポスター状情報支持体の上

から、例えば印刷された厚紙或いは合成樹脂テーブルが挿入される。台座脚には、二つの互いに間隔を置いたクリップが取り付けられるので、保持装置が鏡板の上辺或いは棚の支柱に載置固定される。この装置が情報支持体を確実に且つ不安定性の発生なしに保持するために、ポスター状情報支持体を下と両側から少なくとも５０％を包含するフレームを必要とする。変更として、Ｕ字状フレームが一側面へ開放構成されるので、情報支持体が横に摺動できる。この種の比較的に純なフレームは審美的に全ての用途には適していない。例えば装飾品或いは夜着のような地味な商品の呈示のためには、十分に華奢な保持装置が望ましいだろう。公知の保持装置における不完全さは、ポスター状情報支持体の他のフォーマットのために、横長フォーマットから縦長フォーマットに交換するときでさえ、適切に寸法設定された保持装置が必要である点にある。

【０００３】

ポスター状情報支持体用の別の保持装置は、スイスのビルスフェルデン（Ｂｉｒｓｆｅｌｄｅｎ）のビトラショプ株式会社（Ｖｉｔｒａｓｈｏｐ　ＡＧ）の社報「ビトラショプ・ジャーナル」（発行年１９９６年）第１３頁（非特許文献２）に開示されている。この保持装置は、同様にＵ字成型材から成るけれども、二つの脚が一つの面を形成するように直角フレームに構成される。縦脚の継続部に、延長ロッドが延びていて、このロッドにはアングルが配置されている。情報支持体により、大抵の場合に更に印刷された厚紙が隅をアングルに挿入される。アングルを形成するＵ字成型材の溝には、隆起の相互のラスターが存在するので、溝に差し込まれた情報支持体の辺がラスターに締め付けて保持されている。この保持装置のフレームは三脚のＵ字状フレームより少ない情報支持体を包含するが、アングル状フレームがさらに明らかに現れる。けれども、フレームの横接合部によって、非対称が生じる。その上、アングル状フレームは、確かに情報支持体を異なったフォーマットの或る領域へ差し込むことを可能とするが、情報支持体の一隅のみの非対称クランプに基づいて情報支持体の固定が特に確実ではない。

【０００４】

最終的に、ドイツ実用新案第２９９２１９９０号明細書（特許文献１）には、台座と平らなポスター支柱を有するポスター状情報支持体用の保持装置が開示されていて、平らなポスター支柱が台座に差し込まれている。情報支持体は、特に三面が閉鎖されて下辺のみが開放する封筒の構成を有し、上からポスター支柱に被せられる。ポスター支柱、情報支持体と場合によっては被せられる透明なポスターポケットから成るサンドイッチ配列を収容するために、ロッド状台座は、上部に連続的横断溝を有する。台座の横断面深部には、ポスター支柱にほぞを収容するほぞ溝が延びている。ばね溝には、ばね要素が着座し、ばね要素は、ばね突起により、挿入されたポスター支柱のほぞ溝に受けられたほぞの開口に係止して係合する。

この種の保持装置は、日本特許出願公開第２００５－１８１７０８号公報（特許文献４）と英国特許出願公開第１１９３７６３号明細書（特許文献５）に開示されている。

【特許文献１】ドイツ実用新案第２９９２１９９０号明細書
【特許文献２】欧州特許第１１５２６７５号明細書
【特許文献３】欧州特許第１３１２２８７号明細書
【特許文献４】日本特許出願公開第２００５－１８１７０８号公報
【特許文献５】英国特許出願公開第１１９３７６３号明細書
【非特許文献１】Ｖｉｔｒａｓｈｏｐ　ＡＧ社報「ビトラショプ・ジャーナル」（発行年１９９３年）第６５頁
【非特許文献２】Ｖｉｔｒａｓｈｏｐ　ＡＧ社報「ビトラショプ・ジャーナル」（発行年１９９６年）第１３頁

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【０００５】

この発明の課題は、ポスター状情報支持体用の改良された保持装置を提供することである。この場合には、情報支持体の保持装置への装備或いは情報支持体の交換を簡略化する

ことが重要である。達成すべき保持装置は、僅かな操作によって異なった箇所に配置すること、移動すること、取り出すことができるべきで、つまり載置、挿入、吊り掛け或いはその他の固定に適しているべきである。最終的に、保持装置は、異なった寸法とフォーマットで費用有効に大量に製造することができなければならない。

【課題を解決するための手段】

【０００６】

ポスター状情報支持体用の保持装置は、まず第一に、情報支持体をテーブル部材間に配置収容する、同じ長方形の板として形成された二つのテーブル部材を有し、情報支持体を見せるためにテーブル部材の少なくとも一方が透明である。両テーブル部材を挿入するために台座が用いられる。情報支持体を収容するために両テーブル部材間の隙間を形成する手段が設けられている。

【０００７】

次に、この発明の特殊な実施態様が定義されていて：両テーブル部材間の隙間を形成する手段は、台座に配置された垂直片及びテーブル部材の間に位置するスペーサ部材又はそのいずれか一方である。台座は、その両端が長手方向に開放した、二つの横脚を備えるＵ字成型材として形成されていて、これら横脚が板ばねとして作用し、その間に片側に開放する自由空間を包囲する。両横脚からそれぞれ一個の分岐部が、横脚に対して垂直に延びていて、この分岐部が、互いに向かい合っていて、それぞれ、分岐部に対して垂直に自由空間に向かって延びるフランクに移行し、両フランクが、横ウエブにより架橋されていて、フランク間に、自由空間と反対を向いて開放するねじ通路を有する。両分岐部と両フランクと横ウエブが、両横脚を結合するＵ字の部分を構成し、自由空間を画成する。各横脚は、開放した終端領域に、互いに向き合う係止突起を有する。垂直片は、横ウエブの中心から自由空間内へ立ち上がる。両横脚は、自由空間とは反対側に、分岐部を超えて突き出るそれぞれ一個の延長部を備え、これにより、各分岐部が、肩部を形成する。両肩部が、同一平面上に位置し、ねじ通路まで延びている。肩部は、ねじ通路によりアダプターの接続部材を固定するために利用できる。台座は、アルミニウム成形材から成る。

【０００８】

両テーブル部材は、同じ透明材料、特に合成樹脂或いはガラスから成る。テーブル部材の厚さは、横脚と垂直片の間の内径に一致する。テーブル部材は、その下辺により台座に挿入され、台座に挿入される領域で下辺に対して垂直な両外辺に、それぞれ一つの第一空所を有する。台座に挿入される領域で両テーブル部材の両外辺に、それぞれ一つの段差部が設けられており、この段差部は、第一空所を越えて外辺に沿って、一方では連続的に下辺まで延びて、他方では短い間隔にわたり第二空所の方向に延びている。台座に挿入される領域外で両テーブル部材の両外辺に、それぞれ第二空所が存在し、この第二空所が、保持装置に差し込む情報支持体をつかむ及び情報支持体にクリップ部材を取り付ける又はそのいずれか一方を行うグリップ凹みとして用いられる。

【０００９】

保持装置の両テーブル部材が、台座に挿入される領域外で両外辺に、台座に対して同じ間隔でそれぞれ一つの第二空所を有し、この第二空所が、互いに完全に一致して配置されて、半円形である。クリップ部材は、第二空所の輪郭に相互補完的に架橋部によって互いに連結された二つの半円形の側面部を有し、これら側面部が、情報支持体を第二空所の領域で両側から包囲してそれで固定するために、クリップ状に閉められる。

【００１０】

台座は、長手方向で両端に、それぞれ一個の隅部材を備えていて、隅部材が、台座の端の切断面を覆うように且つ台座に差し込む両テーブル部片を固定するように用いられる。一部材の隅部材は、プレート状の第一アングル部片とこれに対して直角なプレート状の第二アングル部片を有し、それらの間で直角の内側にリブが延びていて、このリブが、横からねじ通路に挿入可能である。第一アングル部片は、台座の肩部に当接するように設定されて、さらに、ねじ通路に係合するねじを取り付ける孔を有する。第二アングル部片は、直角の内側に突出部を有し、この突出部から刃状のほぞが立ち上がる。突出部は、二つの

並んで位置されたテーブル部材の両第一空所に係合し、ほぞの下面の高さと台座の垂直片の上面の高さが一致するように、ほぞが、テーブル部材間に突き出し、第二アングル部片の厚さが段差部に挿入され、それにより第二アングル部片の外面が、テーブル部材の外辺と同一平面上に終了する。

【００１１】

板状のスペーサ部材が設けられ、組立て状態で、両テーブル部材間と、組み立てた隅部材の両側から中へ突き出たほぞ間で、台座の垂直片に載置され、無色透明合成樹脂から成る。台座に差し込んだ両テーブル部材が台座の横ウエブに着座する。スペーサ部材の、台座と反対を向いた辺が、挿入された情報支持体用のストッパを形成する。テーブル部材を挿入した台座が下又は上又は横を向くように、保持装置は、位置され得る。支持構造体が、板状或いは管状スタンド、鏡板、架台、後壁或いはカバーであり、支持構造体と結合する台座の間にアダプターが挿入され得る。アダプターが接続部材を有し、その接続部材は、両肩部に取り付けて且つ台座のねじ通路に固定するように形成される。アダプターは、支持構造体と分解可能に結合する結合輪郭を有する。

【発明を実施するための最良の形態】

【００１２】

任意の図面を参照して、次に、ポスター状情報支持体用のこの発明による保持装置の実施例が細部で変更された異なった態様で詳細に記載される。さらに、保持装置の異なった用途の追加的構成部材とその好ましい補完が記載される。

【００１３】

次の確認事項が全ての別の記載に適用される。図には製図明瞭性のために参照番号が包含されていて、直接に付属する明細書テキストに説明されていないならば、先行或いは後続図記載の言及を参照される。見易さの観点では、「繰り返される」構成部材が取り扱われることが明白に認識出来る限り、別の図における構成部材の繰り返された記号が大抵は放棄される。

【００１４】

［図１Ａ－１Ｊ］

開示された商品の種類、出所と値段に関して客に通知するポスター状情報支持体用のこの発明による保持装置１の第一の典型的用途は、支持構造体９としての板状スタンドにより支持されたテーブル部材２の内部に台座３を備える垂直設置である（図１Ａを参照）。長方形のタイプの二つの同じに形成されたテーブル部材２が横長フォーマットで一致して互いに配置して上からその下辺により台座３に差し込まれる。テーブル部材２の間には、ポスター状情報支持体７を収容する平らな隙間２０が存在する（図７Ａ、７Ｂを参照）。台座３の端部における断面をカバーするために、それぞれ一個の隅部材６が取り付けられる。台座３の上部には、テーブル部材２の互いに対向位置する外辺のそれぞれに第二空所２１が存在し、この第二空所は、保持装置１に差し込む情報支持体をつかみ及び情報支持体７にクリップ部材５を取り付ける（図９、１０Ａ、１０Ｂ）グリップ凹みとして用いられる。

【００１５】

実際に且つ審美的に好ましくは、第二空所２１が両外辺に同じ高さと同じ大きさに存在するので、それぞれ一対のこの空所２１は、テーブル部材２のどの面が組み立てられた状態で外方に向いていることに無関係に、上下に位置する。テーブル部材２には、透明材料、特に無色合成樹脂或いはガラスが使用される。

【００１６】

図１Ｂによる配列は、支持構造体９が板状スタンドの架台に保持装置１の斜め設置を与えることで相違している。図１Ｃによれば、保持装置１が縦長フォーマットで構成されていて、板状スタンドが支持構造体９として立ち上がって、同様に斜め設置を与える。図１Ｄによる構成では、保持装置１が更に縦長フォーマットで構成されて、台座３がテーブル部材２の下部に存在するけれども、台座３と板状支持構造体９の間にアダプター８が延びていて、支持ロッドとして形成されている。図１Ｅによる構成では、縦支柱が支持構造体

９として用いられ、保持装置１が横長フォーマットの一つのタイプを有する。図１Ｆによる用途では、支持構造体９が再び縦支柱であるけれども、縦支柱が壁構成部材９０に組み立てられている。図１Ｇによる構造では、水平支柱が構成部材９０として使用され、水平支柱には構成部材９０が上と下から垂直な平面内で取り付けられる。図１Ｈには、支持構造体９が四辺管により形成されていて、保持装置１が、まず第一に台座３の下面に設置されたアダプター８により支持されていて、その結合形状部８６が支持構造体９に結合される。図１Ｊによると、図１Ｈに使用された四辺管の代わりに、丸い管が支持構造体９として使用される。

【００１７】

［図２］

ここで縦長フォーマットで裁断されたテーブル部材２は、それぞれ側辺に存在する第二空所２１以外に、この側辺には、台座３に向いた下辺２４の近くに、それぞれ一つの第一空所２２を有する。第一空所２２にわたり段差部２３が外辺に沿って延びていて、一方では連続的に下辺２４まで、他方では第二空所２１の方向に短い間隔にわたり延びている。第一空所２２とそれぞれの付属の段差部２３は鏡対称に同じレベルでテーブル部材２に配置されている。保持装置１には、さらに、特に無色合成樹脂から成る帯状スペーサ要素４、保持装置１の計画された寸法に一致する台座３の長い成型材、両隅部材６とボルト６９が付属されている。

【００１８】

［図３Ａと３Ｂ］

この図対では、両テーブル部材２は横長フォーマットで裁断されているので、空所２１、２２と段差部２３を備える側辺が上辺と下辺２４より短い。台座３とスペーサ要素４の成型材の長さは、一致して（適切に）形成すべきである。

【００１９】

［図４Ａ乃至４Ｃ］

両テーブル部材２とスペーサ要素４は、完全に一致して互いに取り付けられ、スペーサ要素は、組立て開始時に大抵はテーブル部材２の同一平面上の下辺２４により終了し、両側に対で存在する第一空所２２の間に位置して、上方に第一空所２２のおよそ半分の高さのレベルにまで延びている。台座３は、原理的に二つの横脚３１を備えるＵ字成型材の部分であり、横脚は、板ばねとして作用し、それらの間に片側に開放する自由空間３０を包含する。横脚３１から、それぞれ直角に分岐部３４が延びていて、分岐部３４が互いに向き合って、それぞれフランク３３に移行し、フランクが横脚３１と平行に延びている。両フランク３３は、横ウエブ３８により架橋されていて、それらの間にねじ通路３９を有し、このねじ通路が自由空間３０と反対を向いて開放している。それにより自由空間３０は、それぞれ両分岐部３４と横ウエブ３８を備えるフランク３３により形成される。各横脚３１は、自由空間３０の入口で向き合う係止突起３２を有する。横ウエブ３８の中心から垂直片３７が自由空間３０内へ延びている。横脚３１は、それぞれ延長部３５により、それぞれ分岐部３４を超えて延びていて、これにより、分岐部３４が、肩部３６を形成する。両肩部３６は同一平面上に位置して、ねじ通路３９まで延びている。肩部３６は、ねじ通路３９によりアダプター８の接続部材８１を固定するために利用できる（図８Ａ－８Ｃを参照）。特に台座３がアルミニウム成型材から成る。

【００２０】

［図５Ａ乃至５Ｃ］

テーブル部材間に位置するスペーサ要素４を備える両テーブル部材２から成るパケットは、部分的に台座３の自由空間３０に挿入されるので、下辺２４が横ウエブ３８に着座しない。横脚３１が両テーブル部材２の弾性押圧によりクランプされず、同時に垂直片３７がスペーサ要素４により生じた隙間２０に入り、この際にスペーサ要素４を次第にさらにテーブル部材２間に挿入させる。

【００２１】

［図６Ａ乃至６Ｄ］

スペーサ要素４を備えるテーブル部材２は、最高に台座３内に挿入されて、組立を継続するためにそれぞれ一個の隅部材６が準備されて、その隅部材により台座３の端部に開放する切断面を覆って、同時に差し込まれたテーブル部材２が台座３と結合する。垂直片３７が隙間２０に更に侵入することにより、スペーサ要素４がテーブル部材２間により深く挿入されて、段差部２３のレベルまで突き出す。テーブル部材２は、下辺２４により横ウエブ３８上に着座する。

【００２２】

一部材の隅部材６は、第一アングル部片６０と第二アングル部片６６とを有し、それらの間で内側に一つのリブ６２が延びている。第一アングル部片６０は、ボルト６９を取り付ける孔６１を有する。第二アングル部片６６は、内側に突出部６８を有し、その突出部から刃状のほぞ６７が立ち上がる。組み立てた状態では、リブ６２が横からねじ通路３９に挿入され、ボルト６９がねじ通路３９に係合し、突出部６８が二枚の互いに並んで位置したテーブル部材２の両第一空所２２に着座し、ほぞ６７がテーブル部材２間の台座３の垂直片３７と同じ高さに突き出し、第二アングル部片６６の厚さがテーブル部材２の段差部２３内に取り付けられ、それにより第二アングル部片６６の外面がテーブル部材２の外辺と同一平面上に終了する。同時に、第一アングル部片６０が台座３の肩部３６に埋め込まれる。

【００２３】

［図７Ａと７Ｂ］

保持装置１を装備するポスター状情報支持体７は、目的に適って一平面に配置されて、この平面はテーブル部材２から台座３の外部に形成された面に一致するので、挿入された情報支持体７が、一方では隙間２０を全ての延長部にわたり埋め、他方では第二空所２１を度外視して、テーブル部材２の間から突き出さない。保持装置１の外周と同一平面上に終了する情報支持体７は、両第二空所２１内に突き出し、それにより取り出すために容易につかまれる。情報支持体７が台座３の領域中に滑り入ることは、テーブル部材２間に位置するスペーサ要素４によって阻止されて、スペーサ要素上に情報支持体７が当接する。

【００２４】

［図８Ａ乃至８Ｃ］

異なって配置された支持構造体９に連結するために、それぞれ補完的アダプター８が設けられている。図１Ｇによる特殊な水平支柱と関係して且つ出願人の欧州特許第１１５２６７５号明細書（特許文献２）の対象として使用された第一態様（図８Ａ参照）では、アダプター８が、孔８２をもつ板状接続部材８１並びに隆起した結合形状部８６を有する。接続部材８１は、台座３の肩部３６に、ねじ通路３９に係合するボルト６９によって固定される。結合形状部８６は、水平支柱に確実に吊り掛けるように形成されている。

【００２５】

アダプター８の第二態様（図８Ｂ参照）は、図１Ｅから成る特殊な縦支柱と関係して且つ出願人の欧州特許第１３１２２８７号明細書（特許文献３）の対象として使用されている。接続部材８１は変更されておらないけれども、結合形状部８６は、縦支柱の三面に係止して包囲するために役立つ。アダプター８の第三態様（図８Ｃ参照）は、図１Ｆから成る特殊な縦支柱と関係して使用されている。接続部材８１は、更に変更されないままであり、修正された結合形状部８６は新たに反対を向いた縦支柱の三面に係止して包囲するために役立つ。

【００２６】

［図９乃至１１］

クリップ部材５は、テーブル部材２における第二空所２１に対する補完的形状を有し、架橋部５０によって互いに連結された二つの側面５１から成り、その側面が情報支持体７を第二空所２１の領域内で両側から包囲して、それで保持装置１自体に緩く差し込み固定するために、クリップ状に閉鎖される。台座３がテーブル部材２の下部にある限り、図１Ａ－１Ｊに示されるように、クリップ部材５が必要ない、というのは、情報支持体７が重力によってスペーサ要素４に着座するからである。けれども、クリップ部材５は、挿入さ

れた情報支持体７が横滑りに逆らって保持されるならば、使用される。

【００２７】

例えばロッド状アダプター８と付属の接続部材８１によってカバーの形態の支持構造体９に吊されている台座３の下にテーブル部材２を備える保持装置１を使用する場合、特に保持装置１が大きく寸法設定された場合には、二対の第二空所２１に対して、挿入された情報支持体７を固定するクリップ部材５が使用される、というのは、このクリップ部材がさもなければ床に落下しただろうからである。このために、第二空所２１は、テーブル部材２の側辺に配置されている（図１０Ａ、１０Ｂを参照）。

【００２８】

同様に、テーブル部材２の横に台座３を備える保持装置１の使用の場合には、少なくとも一方のクリップ部材５の使用が、挿入された情報支持体７を固定するために役立つ。好ましくは、第二空所２１に、テーブル部材２の最上に位置した外辺にクリップ部材５が備えられている（図１１を参照）。第二空所２１でも、テーブル部材２の最下に位置した外辺には放棄されているけれども、出来るだけ大きな自由度を保持装置１の位置決めに得るために、第二空所２１を鏡対称的に配列することが目的に適っている。

【図面の簡単な説明】

【００２９】

【図１Ａ】支持構造体として板状スタンドにより支持されたテーブル部材の下部の台座を備えて、垂直設置でこの発明による保持装置を斜視図で示す。

【図１Ｂ】斜め設置で図１Ａによる配列を示す。

【図１Ｃ】支持構造体として立ち上がった板状スタンドを備える図１Ｂによる配列を示す。

【図１Ｄ】台座と支持構造体の間にアダプターを備える図１Ａによる配列を示す。

【図１Ｅ】支持構造体としての縦支柱と取付けられた壁構成部材を備える図１Ａによる配列を示す。

【図１Ｆ】支持構造体としての縦支柱を備える図１Ａによる配列を示す。

【図１Ｇ】支持構造体としての水平支柱とその支柱に取付けられた壁構成部材を備える図１Ａによる配列を示す。

【図１Ｈ】台座と支持構造体の間にアダプターを備えて、支持構造体として四辺管により支持された図１Ａによる配列を示す。

【図１Ｊ】台座と支持構造体の間にアダプターを備えて、支持構造体として丸い管により支持された図１Ｈによる配列を示す。

【図２】図１Ｃから成る保持装置を斜視分解図で示す。

【図３Ａ】図２によるスペーサ要素を備える横長フォーマットで二つのテーブル部材を斜視分解図で示す。

【図３Ｂ】図３Ａによる配列を側面図で示す。

【図４Ａ】隣接した台座を備えて、互いに取り付けた図３Ａによる二つのテーブル部材とスペーサ要素を斜視図で示す。

【図４Ｂ】図４Ａによる配列を側面図で示す。

【図４Ｃ】図４Ｂから成る拡大された細部Ｘ１を示す。

【図５Ａ】部分的に台座に挿入されたテーブル部材とスペーサ要素を備えて、図４Ａによる配列を斜視図で示す。

【図５Ｂ】図５Ａによる配列を側面図で示す。

【図５Ｃ】図５Ｂから成る拡大された細部Ｘ２を示す。

【図６Ａ】最大で台座に挿入されたテーブル部材とスペーサ要素を備え並びに接近された隅部材を備える図５Ａによる配列を斜視図で示す。

【図６Ｂ】隅部材のない図６Ａによる配列を側面図で示す。

【図６Ｃ】図６Ｂから成る拡大された細部Ｘ３を示す。

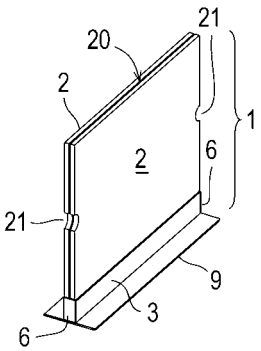
【図６Ｄ】台座なしに図６Ａから成る拡大された細部Ｘ４を示す。

【図７Ａ】接近された情報支持体を備える図１Ａによる配列を斜視図で示す。

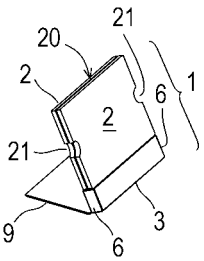
【図７Ｂ】保持装置に挿入された情報支持体を備える図７Ａによる配列を斜視図で示す。
【図８Ａ】図１Ｇによる支持構造体としての水平支柱を備える使用の第一態様のアダプターを示す。
【図８Ｂ】図１Ｅによる支持構造体としての縦支柱を備える使用の第二態様のアダプターを示す。
【図８Ｃ】図１Ｆと図１１による支持構造体としての縦支柱を備える使用の第三態様のアダプターを示す。
【図９】開放されたクリップ部材を斜視図で示す。
【図１０Ａ】情報支持体をクリップ部材により固定する厚さの架台の支持構造体に対して延びているロッド状アダプターにより支持されたテーブル部材の上部の台座を備える垂直設置でこの発明による保持装置を斜視図で示す。
【図１０Ｂ】図１０Ａから成る拡大された細部Ｘ５を示す。
【図１１】情報支持体をクリップ部材により固定する縦支柱の架台の支持構造体に設置する図８Ｃによるアダプターにより支持されたテーブル部材の横の台座を備える垂直設置でこの発明による保持装置を斜視図で示す。
【符号の説明】
【００３０】
１．．．．．保持装置
２．．．．．テーブル部材
２０．．．．隙間
２１、２２．．．空所
２３．．．．段差部
２４．．．．下辺
３．．．．．台座
３０．．．．自由空間
３１．．．．横脚
３２．．．．係止突起
３３．．．．フランク
３４．．．．分岐部
３５．．．．延長部
３６．．．．肩部
３７．．．．垂直片
３８．．．．横ウエブ
３９．．．．ねじ通路
４．．．．．スペーサ要素
５．．．．．クリップ部材
５０．．．．架橋部
５１．．．．側面
６．．．．．隅部材
６０．．．．第一アングル部片
６１．．．．孔
６２．．．．リブ
６６．．．．第二アングル部片
６７．．．．ほぞ
６８．．．．突出部
６９．．．．ボルト
７．．．．．情報支持体
８．．．．．アダプター
８１．．．．接続部材
８２．．．．孔

８６．．．．結合形状部
９．．．．．支持構造体

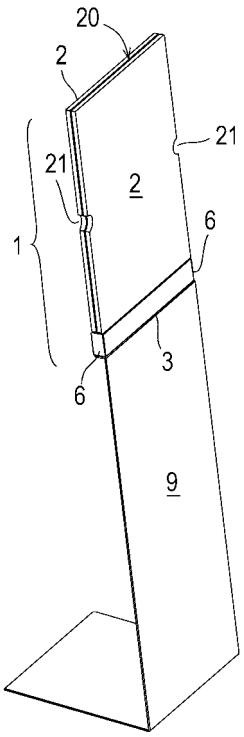
【図１Ａ】



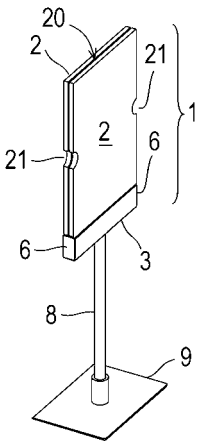
【図１Ｂ】



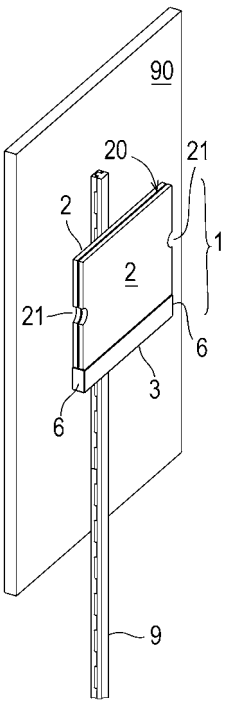
【図１Ｃ】



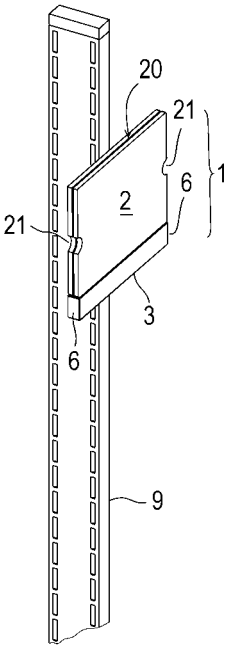
【図１Ｄ】



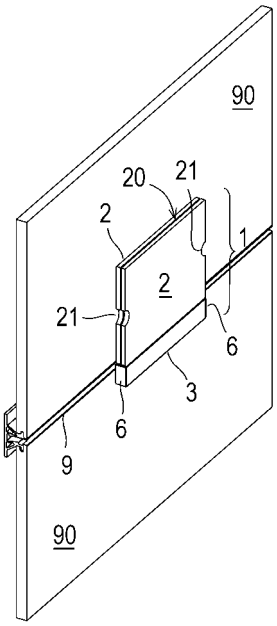
【図１Ｅ】



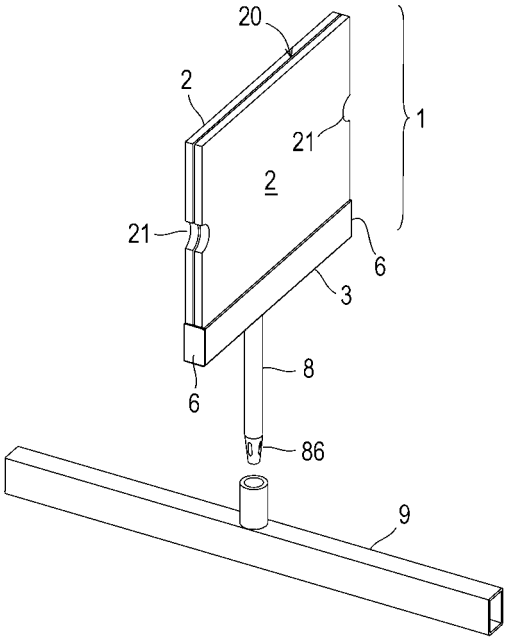
【図１Ｆ】



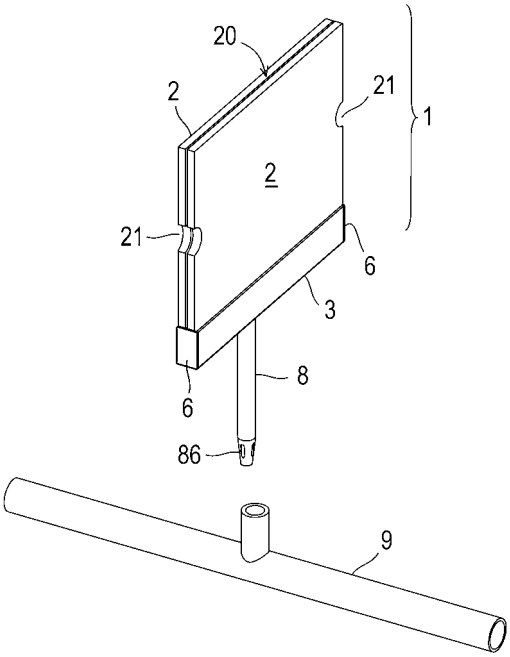
【図１Ｇ】



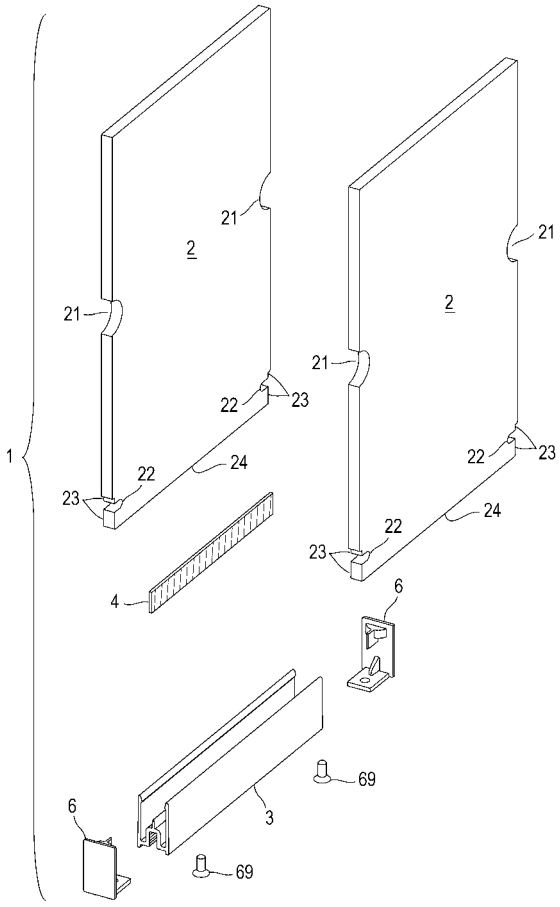
【図１Ｈ】



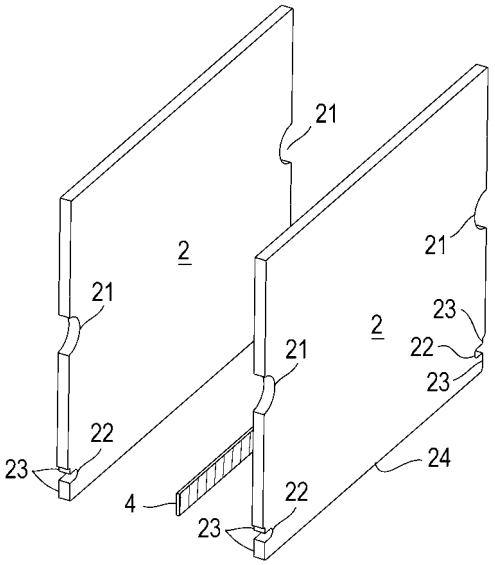
【図１Ｊ】



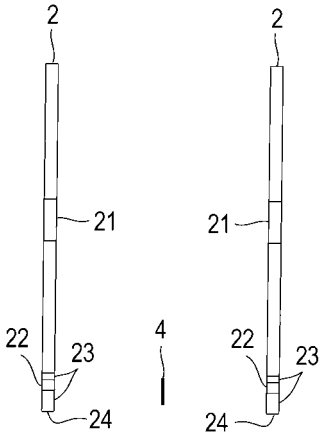
【図２】



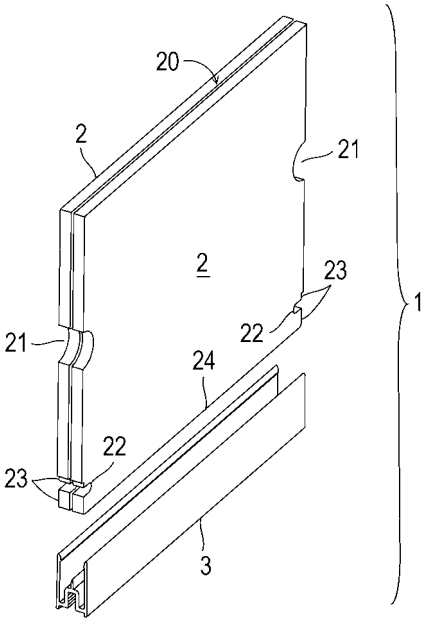
【図３Ａ】



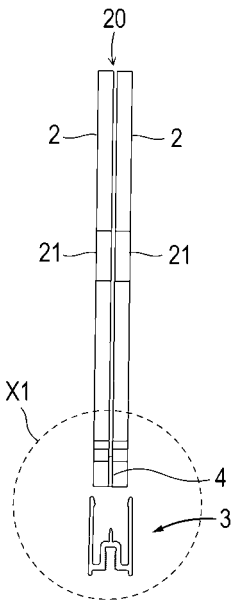
【図３Ｂ】



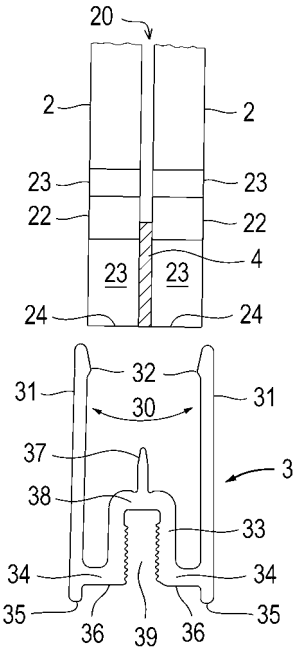
【図４Ａ】



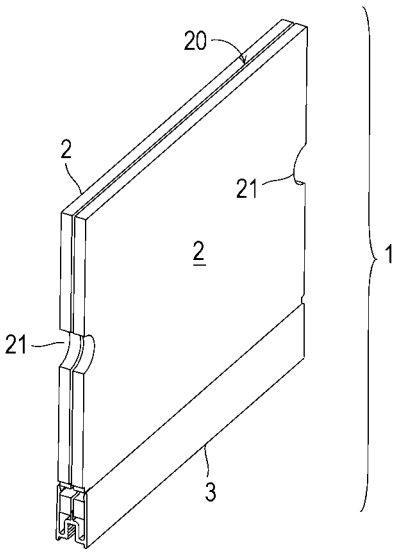
【図４Ｂ】



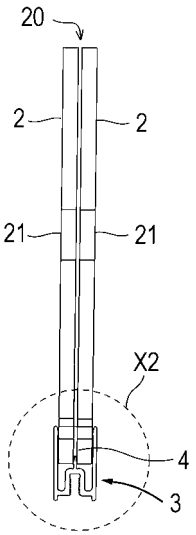
【図４Ｃ】



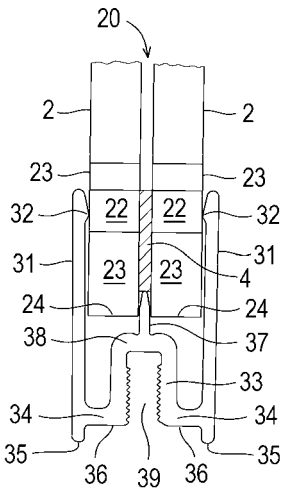
【図５Ａ】



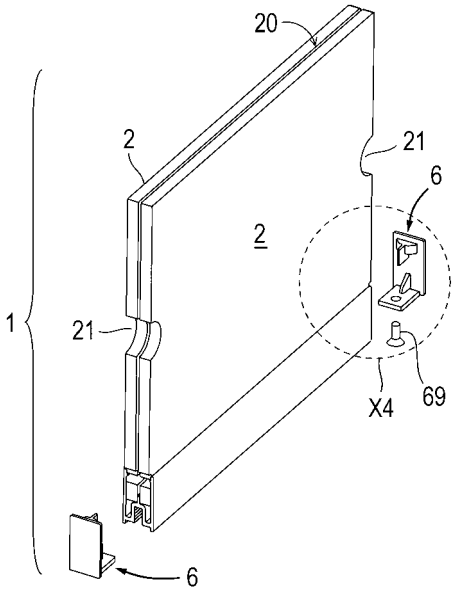
【図５Ｂ】



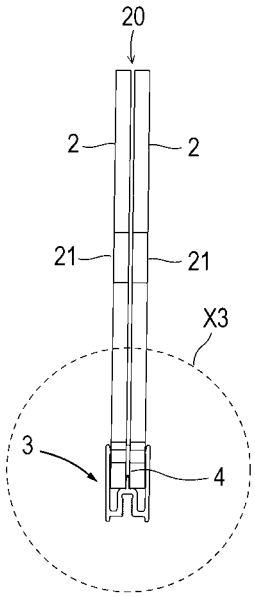
【図５Ｃ】



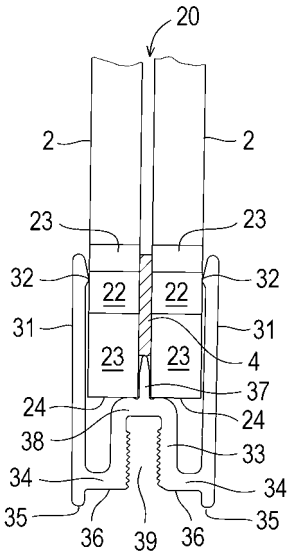
【図６Ａ】



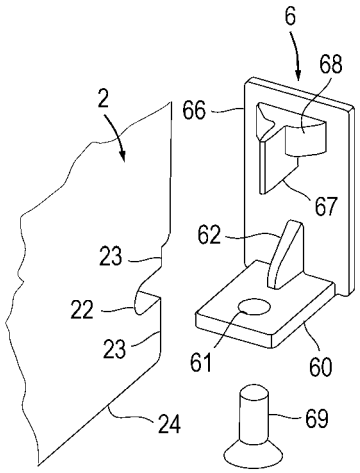
【図６Ｂ】



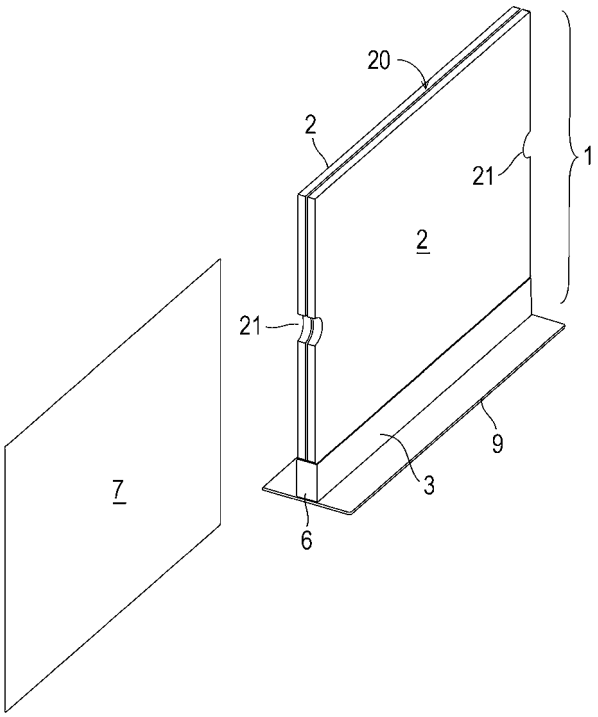
【図６Ｃ】



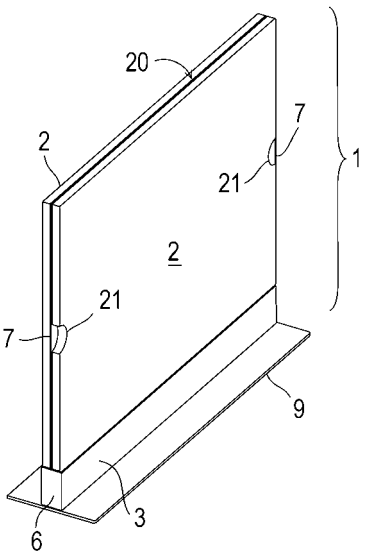
【図６Ｄ】



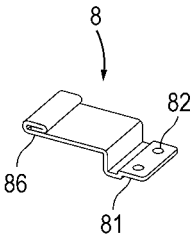
【図７Ａ】



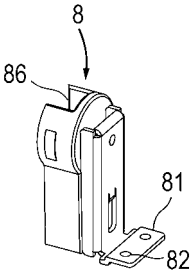
【図７Ｂ】



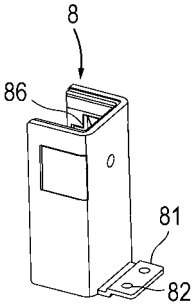
【図８Ａ】



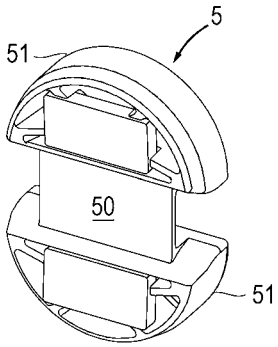
【図８Ｂ】



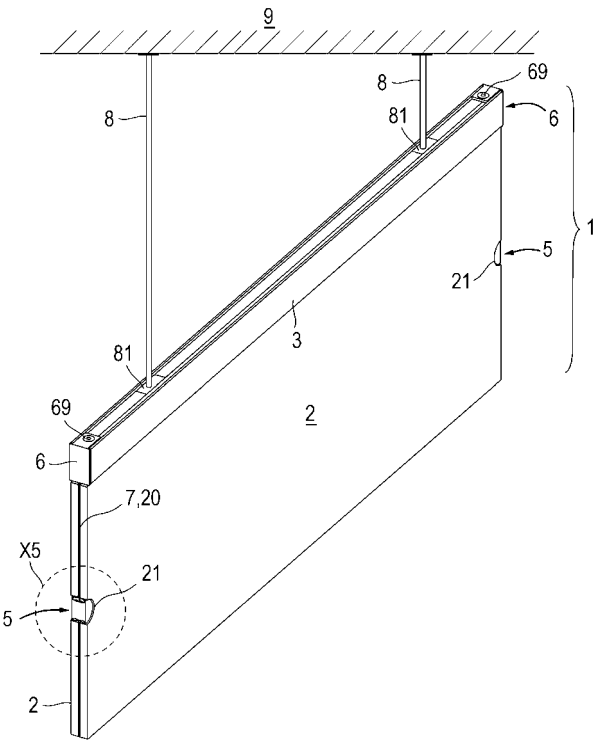
【図８Ｃ】



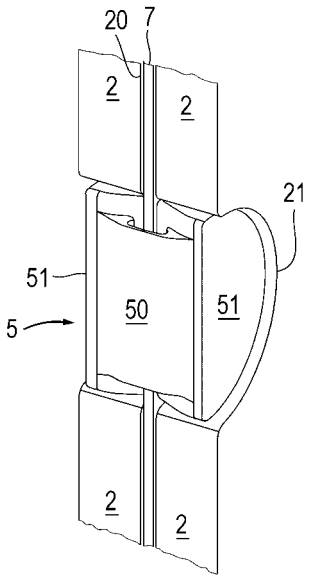
【図９】



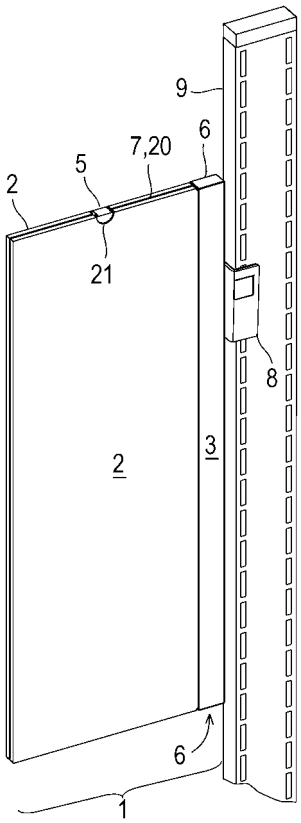
【図１０Ａ】



【図１０Ｂ】



【図１１】



フロントページの続き

(56)参考文献 実開昭５７－１１６９７７（ＪＰ，Ｕ）
特開２００５－１８１７０８（ＪＰ，Ａ）
実開平０１－１００１６１（ＪＰ，Ｕ）
実開昭５２－０３５９８７（ＪＰ，Ｕ）
実開平０２－０５８７８０（ＪＰ，Ｕ）
英国特許出願公開第０１１９３７６３（ＧＢ，Ａ）
特開２００５－１７３５０２（ＪＰ，Ａ）
特開２００４－３６１７６３（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｇ０９Ｆ　　１／００－５／０４
Ｇ０９Ｆ　　７／００－７／２２
Ｇ０９Ｆ　１５／００